

# 巻頭言



岩手県知事 達増 拓也

## 復興の先を見据えた 「いわて国際戦略ビジョン」の推進

初めに、東日本大震災津波からの復旧・復興に取り組む岩手県に、国内外の皆様から多大なお力添えを頂戴しておりますことに深く感謝申し上げます。

「一人一復興」を基本として、心と体のケアやコミュニティ形成支援など、被災者一人一人に寄り添いながら、県民一丸となって復興に取り組んでいるところです。

近年、グローバル化の進展に伴い、岩手県を訪れる外国人観光客の増加や県内企業の海外ビジネス展開の活性化が見られるほか、東日本大震災津波の発災以降、ボランティア活動などで多くの外国の方々が岩手県を訪れ、県民との交流が広がっています。

このような中、岩手県では、さらなる海外展開を図るため、平成 29 年 3 月に「いわて国際戦略ビジョン」を策定し、「海外市場への展開の推進」「外国人観光客の誘客の拡大」「ネットワークの強化と多文化共生」の三つの基本戦略の下、これまで培った世界とのつながりを生かしながら、さまざまな分野にわたる国際関連施策を一体的に推進しています。

こうした取り組みにより、平成 29 年度の岩手県への外国人宿泊者数は震災前の水準を大きく上回り、過去最高となりました。また、平成 30 年 4 月には友好交流協力協定を締結している中国雲南省に現地事務所を開設し、8 月には台湾と岩手を結ぶ国際定期便がいわて花巻空港に就航するなど、成果が着実に表れてきているものと考えております。

今年は、「ラグビーワールドカップ 2019™」が釜石市において開催されるほか、6 月 1 日からの 68 日間、三陸地域全体を会場に広域的・総合的な防災復興行事である「三陸防災復興プロジェクト 2019」を開催します。国内外の注目が集まるこの機会に、世界中からいただいた支援への感謝と、復興に力強く取り組む姿を国内外に発信し、新しい三陸の創造に向けて、オール岩手で取り組んでいきたいと考えております。

また、現在、岩手県では、今後 10 年にわたる次期総合計画の策定に取り組んでいるところです。岩手県が持つ多様な豊かさやつながりなどにも着目しながら、岩手の将来像を描くとともに、震災からの復興と人口減少に立ち向かうふるさと振興を着実に推進し、県民一人一人がさらに希望を持って未来に進んでいくことができるよう、力強く県政を推進していきたいと考えておりますので、引き続き皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。